

常盤新聞

定部金貳錢 廣五紙十二 休日端大券 郵島縣石城郡平町長橋町五番地

印刷所 常盤新聞社

刊夕日四十月三

常盤論壇

普選の次に婦參(下) 展望臺生

現在の智的能力が男子に及ばないのはその機会が與へられないからだ、意志的に推理的に進む男子も直観的に進む女子も行き着く所は同じである、學問の機会を與へずして、女子は智的能力が劣るからと……いふ過辭は虫がよ過ぎ、

伸びるものは伸ばしめよ、今後の社會は人類の悉くが全能力を發揮して文化の内容を充實させて行くものでなければならぬ、男女共力の時代でなければならぬ婦人參政權の問題もこの理由から斷行されなければならぬのだ

要である教育の機會均等は男女の別をなくしたきでなければならぬ、

一冊の代金で 御希望通りな 五冊の雑誌が 自由に讀める

平町長橋町三五 川崎回文庫 (市込次第規則書進呈)

お雛様の 小島屋 は 御支度 御用命

小道具一式 田町郡役所通

齒科醫院 原齒科醫院

平町土橋通り 電話卅一番

生徒募集 平産婆看護婦學校

平町南町 電話三〇七番

産婆看護婦生徒募集 産婆看護婦兩科を通じ滿一ケ年 四月八日迄 願書提出

石城 丁目 産科看護婦學校 電話三五七番

渡邊藥局 劑調方處

品藥料染 目丁三町平 郎五政邊渡 (向局便郵)

粹上で品な履物は 御求めの際は 是非 三井百貨店

平町二丁目 電話五六番

拾週年記念 大賣出し

ヒナ人形 小道具 三月十二ヨリ全二十七日迄 粗品進呈

いづや 平二丁目

御客様の様運次で

百圓の品の 五圓拾買

福引券

| | | |
|----|-----|-------|
| 壹組 | 五割引 | 三十五本 |
| 貳等 | 二割引 | 七十本 |
| 參等 | 一割引 | 二百十本 |
| 四等 | 五分引 | 六百三十本 |
| 五等 | 三分引 | 壹千五百本 |

三月十五日より四月十五日まで

春の御買物は 龜 吳服店へ御用命を 願上ます

福引は三圓以上御買上げの方に差 上げます

良品廉賣 中野吳服店

電話 平町三丁目 城長六十七番

今春の特製品

金 紗 小紋 片側帶 七セル 友仙モスリン

石城郡の兒童から 銀婚式の奉祝文獻上

眞心を現す爲めに自書 其方法を講究中

本郡においては来る五月十日行はせらるる、天皇皇后陛下の銀婚式に奉祝の意味から郡下各小學校兒童より奉祝文を募集して

獻上す

一方兒童の童話若しくは歌を選定して獻上することに内定し、下其方法について講究中であるが問題となつて居るのは之を目書せしめて獻上するか若しくは

印刷す

るかにあるのであるが眞の奉祝の意味からは兒童の眞心を現す爲めに自書せしむる可とする論者が多少多いやうである之が爲郡では近く係員を決定することになつてゐる

石城水産額

第一位は鯉節

本縣水産額の大半を占むる石城郡の昨年の總産額は二百三十餘萬圓に達し其製造高について郡當局において調査中のこの程終了を告げたがそれに依ると同郡江名濱鯉節廿五萬五千圓を最高として總額七十九萬三千三十一圓で前年に比して約十九萬三千圓の減少である

石城の煙代

月に約五萬圓

石城郡煙草賣捌所で二月

愛慮されて居るが東洋捕鯨株式會社が捕鯨の東北根拠地を設置すべく其筋に認可申請中の事は既記の如く認可指令に接し次第直ちに工事に着手する外這般來宮城縣石の巻港肥料商熊田商會、大阪市化學肥料株式會社等も

遊び過ぎて

女房に申譯なく

小膽者のイセ知恵

石城郡豊間村大字薄磯字中街馬車軌業鈴木清(三)は十日午後二時頃現金六十五圓及び女用前掛二枚を窃取されたと駐在所に届出でたので取調べた處實は遊興に費した金の申譯が女房に立たぬ爲めから虚偽の申立てを爲したものと判明本日平署にて科料五圓に處さる

平町長の

月俸拾二圓

眞に今昔の感

近き將來に於ける市制地として今でこそ年報酬千八百圓の伏見町長を有する平町も遠く明治廿二年の町村制



さしきの法

昨日の續きです、砂箱ができましたら、砂に木をさし込んで度々水をかけ上からスリガラスで蓋をするとよ

常磐片々

郡農會が都會熱に冒され易い農村青年子女の足止め策を講究中 結局イッ迄過ぎても講究中で終る事のない様に望む

女房へ遊び過ぎた申譯が立たず盗まれたと警察署を擔ぐ、娘より警察署がアマク見えたらしい

石城の煙草代五萬圓、惜しがるな欲しいからつて只で貰へるもんぢやない

平産看卒業式

平町

足止め策を

縣農會が研究

既報の如く最近青年男女が兎角農業を忌避して農村を脱出する者が多く出で教育のある子女は農家へ嫁入りするのを好まず都市商工業

益増加と農業趣味の宣傳とを徹底しなければならずと

江名道路修繕

石城郡江名町にては雪天後等に於ける道路の泥濘甚しく小學校兒童の登校等に困難を感ずるより道路全部に亘つて砂利を敷く事となつた由

撿事長の視察

宮城控訴院光行撿事長及び福島地方裁判所加藤撿事正は十五日來平平區裁判所及び警察署を巡視すると

江名理髮協議

石城郡江名町理髮業組合は十三日同町巡査駐在所に集合左記事項を協議した

不平受付

投書歓迎

記者より注文 本欄への投書が近頃少なくなりました、タマにあるかと思ひば個人的な不平や人身攻撃的なものなので一寸採録し兼ねます、本欄に載せる不平は狭い意味の不平でなく廣い意味の不平を歓迎したいのです、即ち投書者一人の不平に止らずソレを讀んだ人達も其不平を常に痛感し適當の回答を欲して居たと云ふ様な萬人向きなものがある望ましいのです、是非右の旨をお含みの上奮つて投書されん事を願ひます

特別大興行

關の五本松

△市太郎・輝子・憲式主演 紅蓮關の五本松 全五幕 劇中本場關の名敷數十本五本松踊り、關の五本松一本切りや四本あはれ切られぬ夫婦松

忠 僕全三卷

△佐平次捕物帳第四篇 偵活劇 大江戸の夜に更けて妖霧のうなり聲のやうな丑霧の鐘冷たい死の様な空気を帯びて來る人殺し、恐ろしい爪のあざ獸の毛人間ではないらしい?

愛は償はる

△現劇 愛は償はる 全七幕 脚本家主人公に纏る無情なる妻と純なる娘の戀を描ける大映畫 乾定次郎 柳美保子 園その子主演

平劇場

十六日 東亞 平劇場 替り直營 電五五五

成田山團體

廿二日に出發

平町井上貞次郎氏其他發起にて例年の如く成田山大護摩登山の團體募集中である

が會費は八圓五十錢にて來る廿二日午前七時に平驛を出發し午後二時頃成田に着翌日午前同地解散の豫定である因に申込所は左記の通り

平町人事

出生

△田町七二 飯野保氏長男

婚姻

△九品寺前二 鐵道員大山庄松氏 (二五)宮城縣宮城郡原町松崎カツメ(二一)

△杉平二〇 理髮業酒井清氏(二六)石城郡神谷村鈴木キキ(二二)

△田町一 綿商野口定吉氏(四四)安達郡下川崎村野地メ(三九)

死亡

△南町二 龜山キヨ(七八)